

作成日 2011年06月09日
改定日 2015年2月20日

製品安全データシート

【1. 製品および会社情報】

製品名	まる洗いカーシャンプー
会社名	株式会社MonotaRO
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
緊急連絡先	所在地と同じ

推奨用途及び使用上の制限 自動車ボディ用洗剤
トラック・自動車ボディ、タイヤ、マットの洗浄【業務用】

【2. 危険有害性の要約】

最重要危険有害性及び影響 : 皮膚感作性－アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

GHS分類

物理化学的危険性 : 分類基準に該当しない

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分5

急性毒性(経皮) :

急性毒性(吸入・蒸気) :

皮膚腐食性/刺激性 : 区分3

眼に対する重篤な損傷

/眼刺激性 :

呼吸器感作性 :

皮膚感作性 : 区分1

生殖細胞変異原性 :

発がん性 :

生殖毒性 :

特定標的臓器/全身毒性

(単回暴露) :

特定標的臓器/全身毒性

(反復暴露) :

吸引性呼吸器有害性 :

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性) : 区分2

水生環境有害性(慢性) :

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル :



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : 飲み込むと有害のおそれ

軽度の皮膚刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

水生生物に毒性

- 注意書き
【予防策】 : 保護手袋を着用すること。
粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。
- 【対応】 : 気分が悪い時は医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- 【保管】 : 該当しない
- 【廃棄】 : 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

【3. 組成、成分情報】

単一化学物質・混合物の区別: 混合物

組成および含有量

成分名	含有量 (重量%)	CAS番号	化審法 官報公示 整理番号	化管法 (PRTR)	安衛法 通知対象 物 政令番号
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム	9.6	25155-30-0	(3)-1906	第1種30	—
脂肪酸アルカノールアミド	非公開	非公開	非公開	—	—
キレート剤	非公開	非公開	非公開	—	—
防腐剤	非公開	非公開	非公開	—	—
色素	微量	非公開	非公開	—	—
水	残量	7732-18-5	—	—	—

—: 該当しない

【4. 応急措置】

- 吸入した場合 : 使用中に気分が悪くなった場合は、直ちに作業を中止し、速やかに通気の良い場所で安静にすること。気分が回復しない場合は医師の診断を受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 眼に入った場合 : 目を擦らず直ちに清浄な水で15分間以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易外せる場合は外して洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中をよくすすぎ、無理に吐かせないでコップ1-2杯の水または牛乳を飲ませるなどの処置をすること。気分が悪いときは医師の診断を受けること。

【5. 火災時の措置】

- 消火剤 : この製品自体は、燃焼しない。
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 特有の危険有害性 : 情報なし
- 特有の消火方法 : 火元への燃焼源を絶ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

【6. 漏出時の措置】

- 人体に対する注意事項、
保護具および緊急時措置 : 作業の際には保護具(保護眼鏡、保護手袋、保護マスク)を着用し、飛沫等が皮膚に付着しないようにする。
- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。
- 除去方法 : 少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
漏出したものをすくいとり、または掃き集めて紙袋またはドラム等に回収する。
回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる。

【7. 取扱い及び保管上の注意】

- 取扱い
技術的対策 : 取扱いの都度、容器を密閉すること。
眼、皮膚、衣類に付けないこと。
ゴム手袋及び保護眼鏡を着用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
- 安全取扱い注意事項 : 容器を転倒、落下させ、衝撃を与え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。
- 保管
適切な保管条件 : 直射日光を避け、換気のよい場所で容器を密閉し保管すること。
酸化剤並びに酸化性の強い物質との保管は避ける。
冷却すると凝固するので、冬季には温度降下に注意する。
- 安全な容器包装材料 : 開栓した容器で再び保管する時は、密栓をよく確かめること。
他の容器に移し替えて保管しないこと。

【8. 暴露防止及び保護措置】

- 設備対策 : 取り扱い場所の近くに、眼の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。
- 管理濃度 : 設定されていない
- 許容濃度
日本産業衛生学会 : 設定されていない
ACGIH : 設定されていない
- 保護具
呼吸器の保護具 : 特に必要としない。
手の保護具 : ゴム製保護手袋を使用する。
眼の保護具 : 保護眼鏡(側板付き又はゴーグル型)を使用する。
皮膚及び身体の保護具 : 保護衣を使用する。

【9. 物理的及び化学的性質】

- 外観 : 青色透明液体
臭い : 原料臭

pH(原液)	: 7.2(代表値)
融点・凝固点	: データなし
沸点、初留点と沸騰範囲	: データなし
引火点	: 引火性なし
自然発火温度	: データなし
燃焼性	: 該当しない
燃焼又は 爆発範囲 下限、上限	: 該当しない
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
蒸発速度	: データなし
比重(25°C)	: 1.01(代表値)
溶解性	: 水と任意の割合で混合する。
オクタノール／水分配係数	: データなし
分解温度	: データなし

【10. 安定性及び反応性】

化学的安定性	: 通常の条件では安定。
危険有害反応可能性	: 強酸化剤との接触を避ける。
避けるべき条件	: 現在のところ有用な情報なし。
混触危険物質	: ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と接触しないよう注意する。
危険有害な分解生成物	: 現在のところ有用な情報なし。

【11. 有害性情報】

急性毒性	: 【区分5】は、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウムに起因する。
皮膚腐食性/刺激性	: 【区分3】は、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウムに起因する。
眼に対する重篤な損傷 /刺激性	: 情報なし
呼吸器感作性 又は皮膚感作性	: 皮膚感作性【区分1】は、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウムに起因する。
生殖細胞変異原性	: 情報なし
発がん性	: 情報なし
生殖毒性	: 情報なし
特定標的臓器／全身毒性 －単回曝露	: 情報なし
特定標的臓器／全身毒性 －反復曝露	: 情報なし
吸引力呼吸器有害性	: 情報なし

【12. 環境影響情報】

生態毒性	: 水生環境有害性(急性)【区分2】は、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウムに起因する。
残留性／分解性	: 情報なし
生態蓄積性	: 情報なし
土壌中の蓄積性	: 情報なし

【13. 廃棄上の注意】

内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

【14. 輸送上の注意】

国際規制

国連分類 : 国連勧告の定義上の危険物に該当しない。
 国連番号 : 該当しない

国内規制

陸上輸送 : 消防法・労働安全衛生法・毒劇物取締法に該当する場合は、それぞれ定められた輸送方法に従う。

海上輸送 : 船舶安全法に定められた輸送方法に従う。

航空輸送 : 航空法に定められた輸送方法に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

【15. 適用法令】

化学物質排出把握管理促進法: 第1種指定化学物質 政令番号 第30号【直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。)]9.6%

労働安全衛生法

危険物 : 非該当

有機溶剤中毒予防規則 : 非該当

表示対象物質 : 非該当

第57条の2第1項 通知対象物 : 非該当

毒物及び劇物取締法 : 非該当

消防法 : 非該当

【16. その他】

記載内容の取扱い

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータの評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。また、記載事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上でご使用ください。当製品安全データシートは、日本国内法規を基準に作成しています。